広報やまこし

発行所
新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78

印刷所
大川印刷所

5月の村の人口

=46年5月末日現在=

世帯数	1,053		
人口	4,530	男 2,236人 / 女 2,294人	
5月の住民移動	出生 2人（男1・女1）	死亡 1人（男1・女0）	
	転入21人（男14・女7）	転出23人（男9・女14）	

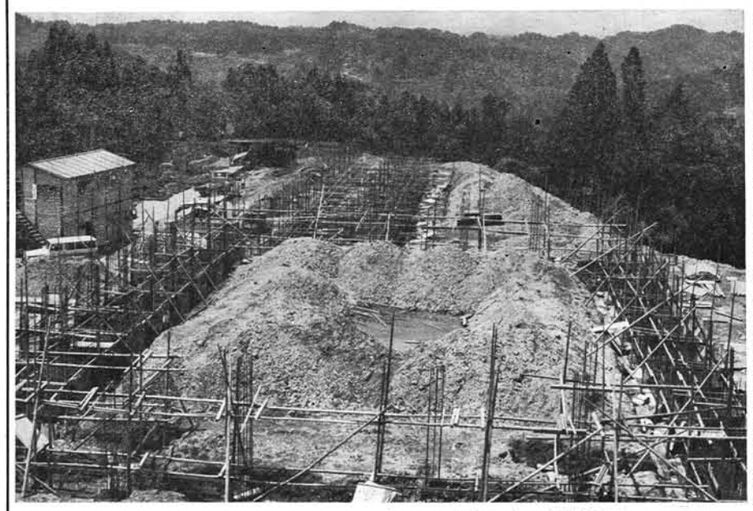
主な記事

○生産調整目標の59%増
○ニシキゴイに科学性を
○災害の未然防止を
○緑の敵を退治しよう

目標の五九%増

ほとんどがニシキゴイ生産を

生産調整



二年めを迎えた四十六年度の米の生産調整は、各農家から提出された実施計画により現地を確認した結果八二・六ヘクタールの減反となり、収穫量にして約三百二十二トン（五千三百四十七俵）の減少になる見込みです。

これは目標を五九・五%上まわっており、県内における達成率は岩船郡山北村に次いで二番めとなっています。

減反面積の内訳は養鯉池に転用したのが一一・七ヘクタール、休耕が七〇・八ヘクタール、転作（野菜）は〇・一ヘクタールで、水田総面積の約三割が休耕または他に転用されるわけであります。

なお、休耕面積の約九五%は水深の浅い池（きす）でニシキゴイが飼われる見込みです。

今後八月一日現在の実施状況については、昨年と同じように現地を確認しますので、ご協力をお願いします。また、養鯉池に転用した水田については農業委員会に農地転用の手続きをするとともに、土手（どて）をよく固めて漏水により地すべりなどが起きないようにご注意してください。

ランマー十三台購入

集出荷施設は五か所に

生産調整に関連した特別対策事業として実施しているニシキゴイの養鯉池を締め固めるランマーの共同利用は昨年の二十台に引き続き、ことしも十三台購入（50%補助見込）します。また漁協を事業主体とするニシキゴイの集出荷施設（4S%補助見込）は、村内五か所に設けられることになっています。

写真で見る

統合中学校 建設のあゆみ

起工式から数えて四十八日め。基礎工事はすでに完了し、二階までの柱部分に鉄筋が立ち並んで絵体の輪郭を表わした。型わく組が行なわれる一方からコンクリートの打ち込みされ、大きな生コン車がひんぱんに往復するなど急ピッチで作業は進められています。

△鉄筋の林で柱の型わく組作業に懸命＝手前は体育館、向側は校舎（六月十三日撮影）

◁まず、基礎をしっかりと……長さ十五米のパイルが二百数十本打ち込まれた（五月十八日撮影）

定例議会

医学生に学資貸与

六月定例村議会は先月十五日、十六日の二日間行なわれました。

決議された主な議案は、医師不足に備え将来医師として村立診療所に勤務することを条件にして、医学生に月三万円～四万円の修学資金を無利息で貸与する条例、保険料を賦課する限度額の引き上げや減額範囲の拡大など国民健康保険条例の改正、一般職の職員の給料表の改善、錦鯉指導研修所運営委員の補充、追加総額千百九十四万円の一般会計補正予算などです。

補正予算の主な内容は米生産調整特別対策事業費百九十万円、統合中学校建設費の追加二百七十八万円、寄宿舎建設費三百五十万円、参議院議員選挙費五十八万円、医学生修学資金貸与金三十万円、種苧原中体育館修繕費六十万円などとなっています。

海と山で交歓！

成人式21日に実施

成人式は七月二十一日午前九時から役場で行なわれます。

対象者は昭和二十五年四月二日から昭和二十六年四月一日までの間に生れ、村内に在住している者で、ことしは五十五名（男三十一人、女二十四人）の予定です。

農村に生きる仲間どうしが連帯意識を高め、いっそう親睦を深めていただくため、式典終了後は弥彦、角田浜方面にバス旅行を計画しています。果しなく広がる日本海と越後平野……弥彦山頂から望む雄大なパノラマは、青年に大きな夢と勇気を与え、祝福してくれることと思います。

長い人生の思い出のひとこまとして、いつまでも残る意義ある一日となるよう全員のご参加をお待ちしています。

なお案内状は近くさし上げますが、お問い合せは教育委員会にお願いします。

生産調整の地区別実績

地区名	実農家数	調整面積 転用	休耕	転作	計
	戸	アール	アール	アール	アール
種苧原	133	31	159	1	191
虫亀	113	22	167	–	189
南平沢	105	9	138	–	147
竹沢	133	24	142	–	166
東竹沢	94	31	102	–	133
計	583	117	708	1	826

※　大久保は南平に含む

試錐機貸付料金（1日当り）

使用者区分	村内	村外
貸付料	7,800円	11,900円
基本料金（内訳）	1,200	2,500
使用料	2,400	5,200
運転手賃金	3,800	3,800
燃料費	400	400

（産業建設課）

▼ボーリング貸付料決定　昭和四十六年度の試錐機（ボーリング）貸付料が四月一日にさかのぼり、次のように決まりました。（総務課）

▼交通制限を実施中　県道広神一長岡線の広神村小平尾と外山の間で、スノーセット構築のため交通規制を実施していますので、小出、種苧原方面への車はご注意ください。

①規制期間　六月十八日から十一月三十日まで

②車の通れない時間
午前7・20～8・10
〃 8・25～9・10
〃 9・25～10・10
〃 10・55～11・40
午後1・00～1・30
〃 1・45～3・15
〃 3・50～4・05
〃 4・50～5・05
〃 6・00～

なお、小出～種苧原のバスは平常通り運行しています。

▼村勢要覧を頒布します　「やまこし」ができましたので、近く全世帯に無償頒布します。この要覧は現在の村の姿を図表や写真によって説明してあり、村政に対してご理解いただく参考になれば幸いです。（総務課）

お知らせ

▼役場人事異動　六月一日付で村の職員に次のとおり異動がありました。

収入役室＝星野松栄（総務課）総務課＝小川喜八郎（採用）税務課＝川上幸治（住民課）住民課＝藤井梅野（総務課）小池米次郎（総務課）教育委員会＝五十嵐優子（採用）住民課付休職＝田中賢二（虫亀出張所）＝兼務　菊入喜三郎（住民課長）虫亀出張所＝斉藤隆（住民課）

▽レントゲン間接撮影　結核を早期に発見し、軽いうちに治療するため、レントゲン間接撮影を次のとおり実施しますので必ず受けてください。

対象者は小学校一年生以上およびなべて全員です。

▽胃ガンの集団検診　ガン検診車による胃ガンの集団検診を実施しますので、希望者は役場に申し込んでください。

ガンは早いうちに発見して治療すればなおる病気です。一年に一回は必ず検診を受けましょう。

レントゲン間接撮影の日程

会場	実施月日	時間	参集範囲
芹坪小学校	7月9日	11時～2時	小松倉、学童
長島燃料店前	7月12日	10時～11時半	間内平、菖蒲、山中
竹沢小学校	7月12日	1時半～3時	下村、二丁野、向田、学童
虫亀小学校	7月13日	10時～3時	虫亀、学童
竹沢保育所	7月14日	10時～11時半	油夫、桂谷
池谷小学校	7月14日	1時～3時	大久保、池谷、楢木、学童
(栄)商店前	7月15日	10時半～3時	梶金、木籠、学童
下村作業所	7月16日	10時～11時半	下村、大谷池、上村
中道屋商店前	7月16日	1時～3時	中野、寺野
種苧原小学校	7月17日	9時半～12時	小・中・高校生

▽二回めの日本脳炎予防接種　日本脳炎予防接種の二回めを実施しますので受けてください。

日本脳炎予防接種（2回め）

会場	実施月日	時間
種苧原小学校	7月2日	1.30～3.00
虫亀小学校	7月6日	1.30～3.00
竹沢小学校	7月5日	1.30～3.00
池谷小学校	7月7日	1.30～3.00
梶木小学校	7月8日	2.00～3.00
芹坪小学校	7月9日	2.00～3.00

青年研修会でスタート

ニシキゴイに科学性を

指導研修所

ニシキゴイ主産地形成事業の一つとして建設した指導研修所は、昨年十一月二丁野に完成しましたが、このほどその運営や本年度の研修計画がまとまり、六月下旬から一部実施されています。

研修の時期、内容など計画の概要は次のとおりです。講師には県水産課、錦鯉公社、村漁協などの役職員、一般学識経験者を予定しています。

○技術交流・研究会　村内の生産者などを対象に、飼育技術の交換や研究を行なう（時期＝十一月～四月）

○講演会　中央から専門講師を招き、色上げ、魚病対策などについて講演会を開く（時期＝六月、十一月、二月）

○青年研修会　村内外の後継者と高校生を対象にし、ニシキゴイ全般にわたってテキストにより五日間の日程で合宿により研修する（時期＝六月、八月）

○一日研修会　村外からの視察者等にニシキゴイを理解し知識を深めてもらうため、六月から十月まで毎月三回程度、日帰りのできる研修会を開く

○定期研修会　村外の生産者、愛好者などを対象にして、五日間の日程でニシキゴイの基礎知識から経営のしかたまで、宿泊して研修する（時期＝七月、八月、十月）

このような研修の具体的な開催要領はその都度お知らせしますので、多数のみなさんの参加を望んでいます。

科学的な飼育技術や越冬方法、能率のよい生産方法を学びとり、原産地にふさわしい優秀品の産出に努力して、全国的なしかも大型化した生産体制に対処しましょう。

一般利用者にも解放

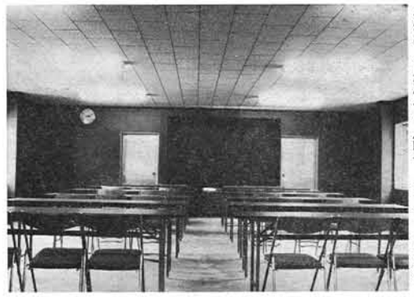
研修所は一般にも開放しています。講会等で利用されるときは使用の日時、目的、あらかじめ申し込んでください。

収容は会合は五十人、宿泊は二十人までが可能で、利用料金や宿泊料は次のとおりです（申し込みは錦鯉指導研修所、電話〈竹沢〉四五番に……）

研修所利用料金表

総合研修室	（1時間）	200 円
	（1 日）	1,000 円
小研修室	（1時間）	100 円
	（1 日）	600 円
宿泊料	（1 泊）	600 円

食事代は別に実費徴収



新装なった指導研修所の内部

災害の未然防止を

大雨がねらっています

新潟地方気象台が発表した三か月予報によると、七月の前半は梅雨前線の活動が活発で大雨が降りやすく、つゆは平年並みに明け八月もはじめと終りには北陸を中心に局地的な大雨のおそれがあるとしています。

本村は各所に地すべりの指定地があり、現在すでにすべっている区域、過去にすべったことのある区域など多くあります。しかも近年は養鯉池の増加にともない、池水が地下に浸透するなどついそうそうその危険性もふえているといえましょう。

つゆに入ってからは連日にわたる降雨で地盤はゆるみ、地すべり、がけくずれが発生しやすい状態になっています。

減反面積の内訳は養鯉池の決壊やニシキゴイの流失を未然に防ぐため、大雨を前に各人が次の点に注意するなど防災体制を整えておきましょう。また、危険箇所を発見したり、地すべり、がけくずれが発生したら直ちに役場に連絡してください。

地すべりには

① 地すべりやがけくずれの恐れのある地域は、常に見まわりを怠らず、亀裂が生じていないかよく注意する。

② わき水や井戸水の水量が変化したり、異常に濁っているとき、また地鳴り家鳴りがするときは危険です。

③ 家屋や電柱などにゃひずみゃが生じたときも危険です。

ため池や水田は

① ため池や水田は残水の排けロをよく管理し、貯水面を下げる。

② 用水路などの手入れをする。最近はホースで水を引くため水路の管理がおろそかになっているため注意がかんじんです。

③ 万一に備えて、手持ちの揚水ポンプを点検しておきましょう。

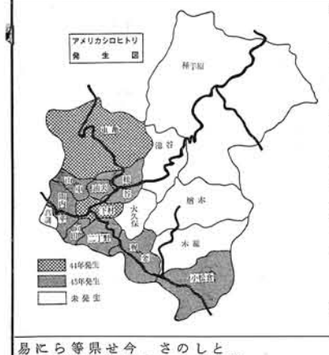
まず人命保護を

危険な場所に住む方はとくに日ごろからの注意が必要です。

危険を感じたら早めに避難し、もし不幸にして地すべり、がけくずれが起きたときは、土砂が流れる方向と直角の方向で安全な場所にすぐ逃られるよう、ふだんから家中で話し合い心がけておくことが大切です。

緑の敵（アメリカシロヒトリ）を退治しょう

けむし（幼虫）のうちが効果的



アメリカシロヒトリがこともな各地で発生して緑を食い荒しています。村内は主として交通のひんぱんな竹沢、虫亀、梶金などに集中して発生していますが、区域は次第に広がる傾向にあります。

この繁殖力が強く被害を広範囲に及ぼす害虫から樹木を守るため、みんなで協力して防除しましょう。

卵のかえる時期

アメリカシロヒトリは六月と八月の年二回卵からかえりますから、この時期に防除しないとまた来年発生をくり返えすことになりますので、次の期間中に徹底的に駆除することが大切です。

一世代
六月上旬～七月下旬
二世代
八月上旬～九月下旬

巣の見つけ方

幼虫（けむし）は卵からかえると、十日～十二日間は分散しないで群をなして糸を吐き巣をつくります。巣の中の幼虫は最初葉の表皮を残して葉肉だけ食べ荒すので、その葉は網のようにすけて見えます。

アメリカシロヒトリが好んで産卵するさくら、桑、ポプラ、くるみ、かきなどを中心に果を探して退治しましょう。

また、一本の樹木に時期を変え数か所に卵を産みつけるので、一度果を処分してもまた新しい果ができるので、半月くらいは間じ木を注意して見る必要があります。

巣の取り方

巣のついた枝葉を切り放して火で焼くか、踏みつぶすかしてください。二～三日放置しただけで幼虫は散ってしまうことがありますから、見つけ次第に処分するのがかんじんです。

薬剤の散布は

幼虫の巣を取ることが有効な防除方法ですが、被害樹木や幼虫の数が多いときはDEP、DDVP、スミチオンなどを散布して防除するといっそう効果的です。

なお、DDVPは桑園に散布しても、四日間くらい過ぎれば養蚕に使っても安全です。防除器具は農業共済組合に二台備えてありますから部落ごとに利用してください。

図書

「新潟県百年のあゆみ」をあっせんします

明治百年記念事業の一つとして県文書広報課で編集していた図書〝新潟県百年のあゆみ〟がこのほど発行されました。

この本は、明治改元以来今日の新潟県までを発展させた県人百年のあゆみを、県政、産業経済、教育文化等の各方面から顧みながら、本県将来の発展の資料にもなるよう、しかも、平易な記述で、だれでも、気軽に読めるよう編集されています。（見本は役場にあります）

本誌体裁
A五版（二一㎝×一五㎝）本文六九二頁、写真四五〇枚、図版約一一〇枚挿入
張布価格
一、〇〇〇円　〒一五〇円

購読希望者は役場企画係にお申し込みください。

寄贈を感謝

防犯灯を東北電力に

(株)東北電力小千谷営業所では、ことしもサービス高揚月間の行事の一つとして、このほど防犯灯を五基寄贈されました。

村ではさっそく設置場所を検討し二基設けるほか、虫亀、大久保、小松倉にそれぞれ取り付けていただくことになりました。

知事にたよりを

"県政ポスト"設置

県政についての建設的な意見、要望あるいは苦情などを手軽に知事に寄せることによって、県民の声を県政に反映させようということから県政ポストが設けられています。

県ではあなたの率直なお待ちしています。また この投書に対する回答は直接あなたにされますが、やむ的なもの、他人の中傷、人事関係などについては回答しないことになっています。

県政ポスト……この投書に用いるはがきは、役場や出張所の窓口に備えてありますから自由にご利用ください。

自衛官募集中！

資格・18～25歳未満の男子
応募・役場総務課に

山古志よもやま

明治十年の二十村

佐野軍一

江戸時代、農民やその子弟を教化教育するため郷校というものを作り人間としての道を説ききかせ簡単な読み書きを教えたいくつかの藩主があった。しかし「死なねばよいに生きぬよりよしに」の幕府の農民政策のなかでは、困窮の一途の農民は学問どころではないといった実情であった。

それに比較して、中世の武士は寺院を利用して子弟を教育し、近世には僧侶を教育に利用した。更に町人が実力にものいわせ、自らの子弟の教育機関をつくった。これが江戸の中期ごろから一般庶民に急速な浸透をみせた世にいわれる「寺子屋」で町人のものとして発展した関係から、読み、書き、算盤（そろばん）が主で、それが一般庶民の学問として明治の初めまで続えたわけである。

維新の改革なった新政府は西洋文化の発達により、教育の重要性を認め、「邑（むら）に不学の人なからしめん事を期す」と国民皆学を説き、明治五年八月三日学制発布となった。

明治十年当時の山古志二十村の学校は、どんな状況になっていたであろうか。もとより規木、芹坪、池谷の小学校はなかったし桂谷分教場もなかった。だが、当時出来た学校はその大学村や所在部落は、明治の当時も昭和の今日でも変わりはないようである。

学校は本校と附属校に区別され、本校は虫亀小学校で虫亀村の第二五九番地にあって敷地が一〇九坪、校舎は五五坪の建物で所有品価として金八五〇円となっている。本校には「取締」という職責を持つ人がいた。これは土地の名望智力あるものとされており、居住民を代表して教育行政の末端に参加し、更には学区内の監督の任にあたるのが主たる任務である。

この取締には第十五大区小二区の木山沢村出身、保科義徳が就任している。

次に出張所には小栗山村の広井十三と虫亀村の五十嵐平治の両氏が就任し就学、教師の勤怠、生徒の出欠、授業料の徴収監督など後年の学務委員のような役目をした。

（つづく）